

予算	款	項	目	決算書
	8	5	2	274 頁

目名
住宅建設費

事業名称
市営住宅整備事業

1. 概要

目的	安全で快適な居住環境を提供する	対象	入居者
事業概要	○市営住宅整備事業 ・朝地住宅木造平屋3棟建設工事、及び工事監理、道路整備工事、照明灯他撤去工事、実施設計 ・菅尾住宅RC造4階建て建設工事(24年度分)、及び工事監理、側溝整備工事、旧住棟解体工事、駐車場整備工事、実施設計、移転補償		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	市営住宅整備事業	朝地住宅建設、菅尾住宅建替	工事請負費	237,235	236,717	115,672	108,900		12,145	3
計				237,235	236,717	115,672	108,900	0	12,145	

2. 指標設定

成果指標	指標名	公営住宅等長寿命化計画に基づく居住環境整備		目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の重点施策としているため				
活動指標	指標	a	市営住宅建設(朝地)	b	市営住宅建替(菅尾)	c	ストック住宅の予防保全	d		
	数値	目標	24戸	目標	52戸	目標	—	目標		

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H22	H23	H24
公営住宅等長寿命化計画に基づく居住環境整備		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 市営住宅建設(朝地)	戸	—	3 戸	6 戸
		—	12.5 %	25.0 %
b 市営住宅建替(菅尾)	戸	—	—	20 戸
		—	—	38.0 %
c ストック住宅の予防保全		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
既存住宅の老朽化が激しい
対応(改善点等)
計画的に整備を行う

5. 事業費・・・H22～H24(決算額)、H25(予算現額)

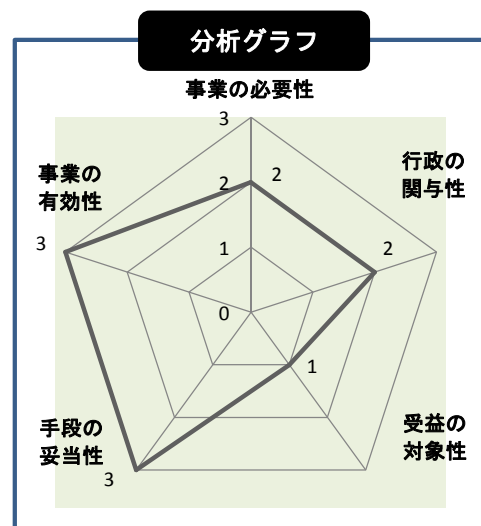
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
		26,278	138,621	236,717	162,183
うち経常経費		1,632	1,236	934	1,018
財源内訳	国費	6,237	67,827	115,672	66,827
	県費				
	市債	17,100	63,700	108,900	82,500
	その他				
	一般財源	2,941	7,094	12,145	12,856
うち経常		1,632	1,236	934	1,018
事業費に係る人件費		7,883	7,740	7,729	4,359
事業費に係る人役		1.80	1.80	1.80	1.00

6. H26年度予算の方向性

方向性
増額
理由
2ヶ年の債務負担行為による菅尾住宅建替事業の後年度予定額が増加するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 地域ごとの必要性を再確認する必要有り
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスのない地区がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 入居者だけに恩恵がある
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 老朽化し危険な住宅は建て替える必要がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 住宅が新しいと入居率も良く既存住宅の改修は入居者も望んでいる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、限られた予算の中、計画的に事業進行を図ること。